



報道機関各位



平成29年2月3日
室蘭開発建設部 広報官

表彰授与式開催！「わが村は美しくー北海道」運動

～第8回コンクールの優秀賞、奨励賞～

平成29年1月23日にお知らせしました「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール受賞団体への表彰授与式を下記のとおり開催しますので、お知らせします。

記

1 優秀賞

団体名 観光物産館農産物販売協議会（伊達市）
日時 平成29年2月10日（金） 9：30～
場所 道の駅だて歴史の杜 伊達市観光物産館内（伊達市松ヶ枝町34-1）

2 奨励賞

- (1) 団体名 びらとり農業協同組合 青年部（平取町）
日時 平成29年2月15日（水） 13：00～
場所 びらとり農業協同組合本所ミーティングルーム2階（沙流郡平取町本町40-1）
- (2) 団体名 JAとまこまい広域 厚真町ハスカップ部会（厚真町）
日時 平成29年2月15日（水） 14：30～
場所 営農センター2号会議室（勇払郡厚真町錦町10-2）

※上記受賞団体の活動については、別紙を参照してください。

【「わが村は美しくー北海道」運動とは】

わが村運動は、地域住民が主体となり、北海道の農山漁村・農林水産業を通じて地域づくりを行う活動に対して、様々な人たちが「参加しよう」、「広げよう」、「いいもの伝えよう」をキャッチフレーズにこうした活動にかかわっていきこうとするもので、平成13年から行っています。

「わが村は美しくー北海道」運動の各種情報は、以下のホームページに掲載しています。

http://www.hkd.mlit.go.jp/zigyoka/z_nogyo/wagamura/index.html

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 室蘭開発建設部
土地改良情報対策官 金谷 雅宏 電話 0143-25-7049（ダイヤルイン）

室蘭開発建設部ホームページアドレス <http://www.mr.hkd.mlit.go.jp/>



伊達市



賑わいを見せる農産物販売の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体 観光物産館農産物販売協議会

【伊達市】

地域特性を活かした農業活性化活動

はじめは？

伊達市観光物産館がリニューアル（平成24年4月）される前までは、敷地内に小さな道の駅がありましたが、人目につきにくいなどの課題がありました。また、販売を拡大したい新規就農者らが中心となり、平成21年から朝採りの野菜等トラックの荷台で販売する「だて軽トラ日曜朝市」を開催していました。

観光物産館の建設を契機に平成23年10月「だて軽トラ日曜朝市」を発展的に解消し、直売所に出荷する農家で観光物産館農産物販売協議会を設置しました。

おもな活動

本協議会は、伊達市の農業活性化に寄与することを目的に観光物産館内の農産物直売コーナーで農産物の販売を行っています。販売する農産物は、新鮮な冬野菜や他で見られない新しい野菜を栽培する農家が増えるなかでキャベツ、トマト、ブロッコリー、大根、カブ、キュウリ、ルッコラなど約150種類の野菜を始め、低タンパクにこだわった米、道内有数の早出しジャガイモ、果物



軽トラ朝市の様子

花まで多彩な農産物を揃えています。また、毎年秋に農産物生産者と消費者との交流の場として軽トラ朝市を開催し、農業者と消費者との交流の場づくりも行っています。

ここが自慢

【地元へのこだわり】

協議会では、冬も人気の直売所にしようと伊達の温暖な気候を生かし、冬野菜の拡大に力を入れ、冬期間のハウス有効利用の観点から会員の半数ほどが冬野菜を栽培しており、農閑期の収入源となっています。また、伊達市農業協同組合が、伊達市の支援のもとに、平成25年度から野菜産地としてのブランド力強化に向け、冬野菜の生産支援に取り組んでいることと相まって、同市からの冬野菜の出荷先は札幌圏や旭川市など都市部を中心に増えており、伊達野菜の知名度アップに繋がっています。冬野菜が伊達市の地域振興に寄与しています。



農産物販売スペースの様子

連絡先

代表者名：阿部 宏昭さん／設立：2011年／会員：84名

住所：伊達市松ヶ枝町34-1

電話番号：0142-25-5567（問合せ 山崎 博司さん）

F A X：0142-25-5587

E-mail：-

U R L：-



平取町



北広島市（くるるの杜）でのPR活動の様子

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

びらとり農業協同組合青年部

【平取町】

地域農業発展に向けた生産者実践活動

はじめは？

平取町では、農業を基幹産業として、トマト、キュウリ、寒締めほうれん草などの施設野菜を中心に水稻や酪農、肉用飼養を取り入れた複合経営が営まれています。

なかでも、トマトは北海道一の出荷量を誇り、ブランド化を推進し、「びらとりトマト」として地域団体商標登録されるなど、平取町を代表する農産物です。

本団体は、地域農畜産物の生産者組織であり、平取町の農産物を広く消費者の方々に知っていただくため、PR活動、消費拡大活動を展開しています。

おもな活動

日高・胆振地区JA青年部と連携したPRイベントとして、道の駅（ウトナイ湖）で「びらとりトマト」をはじめ、様々な特産品の試食販売を実施しているほか、北広島市内の農協直販所でのJAびらとり青年部特産品フェアで対面販売を行うなど、積極的に消費者の方々と交流を図っています。こうした生産者が消費者と触れあえる場は、活動や生産意欲の向上にも繋がっています。

また、平取町教育委員会と協力し、農業の素晴らしさや食べ物の大切さを学んでもらうための食育活動にも取り組んでいます。



日胆地区JA青年部PRイベントの様子

ここが自慢

【農業体験を通じた食育活動】

町内の児童に農業のすばらしさ、食べ物の大切さを学んでもらうため、自然体験学習事業【キッズチャレンジTHEあぐり】実行委員会が設立され、後援として青年部も参加しており、田植え体験や搾乳体験等農作業体験の外、レシピの紹介、調理、試食まで一体として体験してもらうことにより、将来を担う子供達に農業の素晴らしさや食べ物の大切さを学んでもいただく場を提供しています。



キッズチャレンジTHEあぐり（田植え体験）の様子

連絡先

代表者名：野口 和真さん／設立：1975年／会員：49名

住所：沙流郡平取町本町40番地1

電話番号：01457-2-2020（問合せ 山内 峻太郎）

FAX：01457-2-3792

E-mail：-

URL：<http://ja-biratorityou.blog.so-net.ne.jp/>



厚真町



厚真産ハスカップの栽培風景

「わが村は美しくー北海道」運動第8回コンクール応募団体

JAとまこまい広域 厚真町ハスカップ部会

【厚真町】

地域限定資源による農業活性化活動

はじめは？

厚真町特産のハスカップの栽培農家戸数は、栽培が始った1980年代の約100戸から一時56戸まで落ち込みましたが、甘みが強い独自品種開発及び栽培等により、ハスカップ農家数が増え、現在、作付日本一となり、ハスカップ果実のほかにハスカップを使用したジャム、ゼリー、菓子等の加工商品として提供しています。また、現在はハスカップドリンク等の商品開発やハスカップを使用した料理教室の開催、地元中学校によるハスカップパフェの開発など地元の取組も広がっています。

おもな活動

多くの方々に厚真産ハスカップを知ってもらいたいという思いから、消費拡大と併せ、地域振興のため、地域ブランド確立に向けた商品販売や各種PR活動を展開しています。



厚真産ハスカップと加工商品

ここが自慢

【地域限定ハスカップ品種】

現在、厚真町のハスカップは、栽培面積日本一の生産地となっています。日本でのハスカップのうち「あつまみらい」と「ゆうしげ」の二品種は、厚真町でのみ栽培できる地域限定品種です。

本団体は厚真町ハスカップの販売振興及び産地PRなどのため、対面販売・各種イベント・物産展への出展と共に冷凍ハスカップの賞味期限表記調査や輸送における衝撃吸収資材使用による長距離輸送試験を実施するなど、遠方への販路拡大及び生産量拡大に向けた取組も併せて行っています。



厚真町の地域限定品種

連絡先

代表者名：長谷 誠良さん／設立：1980年／会員：99名

住所：勇払郡厚真町錦町10番地2

電話番号：0145-27-2241（問合せ 川原 拓也）

F A X：0145-27-3957

E-mail：-

U R L：-